

第1学年 国語科学習指導案

指導者 3組 小野 克也【公開授業Ⅱ】
男子19名 女子15名 計34名

- 1 単元名 かいてあることをくらべながらよみ，じどう車ブックをつくろう
教材名 「じどう車くらべ」(光村図書 1年下)

2 単元について

(1) 児童について

本学級の児童は，1学期の説明的文章教材「くちばし」において，内容の大体をとらえて読むために，写真や絵と文を照応させたり，問いと答えを中心に，紹介や説明等の事柄の順序をとらえて読んだりした。また，読んだ事を活かして「どうぶつクイズブック」を作る学習も行ってきている。児童は，この学習を通して，文末に気を付けて問いの文を見付けたり，言葉や文末に気を付けて答えの文を見付けたりすることができるようになってきた。また，問いの文の前にある紹介の文の必要性や写真や絵を見て相手に伝わる言葉で書くことの必要性についても児童から出された。読書については，以前より読める文字が増えたことから，物語や図鑑など様々なジャンルの本を楽しんで読むようになってきており，読書の幅も広がってきている。

(2) 教材について

第1学年及び第2学年の「C読むこと」の目標は，「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに，楽しんで読書しようとする態度を育てる。」ことである。本教材は，3種類の自動車について「しごと」と「つくり」の順序で2点の関係を説明する形で書かれている。身近な自動車について，同じ形の説明が繰り返されることで，「しごと」と「つくり」の因果関係に気付き，今まで何気なく見ていた自動車に対する新しい発見をすることができる文章である。児童にとって興味・関心をもちやすい自動車を題材にし，新しい見方を知らせる文章であることから，児童に説明的文章を読む楽しさを味わわせると同時に，調べたり表現したりする学習活動に発展できる教材であると考え。さらに，読み取った説明的文章の特徴を生かし，事柄の順序を考えながら分かりやすく表現する力を身に付けることもできると考える。

(3) 指導について

本単元で付けたい力は，「事柄の順序に気を付け，内容の大体をとらえて読む力」である。本単元の言語活動として，「読むこと」の言語活動例「事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと」を具体化し，図鑑や本を読んで，すごいと思う自動車について「しごと」と「つくり」を関係付けて探し，カードに書いていくことを位置付ける。そのために，学習材で読み取りをした後には，本や図鑑を使いその中から，「しごと」や「つくり」の大事な要素を見付ける学習をしていく。また，「問いの文」と「答えの文」のつながりをとらえさせたり，3つの自動車の答えの部分の文章構成をとらえさせたりしていく。そうすることにより，読み取りの際のよりどころにもなると考える。その際には，文章構成がすぐに分かるように内容ごとに色を変えて提示することにより，視覚的にも共通点に気付かせることができると考える。その文章構成は自分でカードを書くときにも活用させていきたい。また，学習材の3つの自動車の「しごと」と「つくり」についても色分けした付箋に短い言葉で書き出す活動を繰り返すことで，大事な言葉に着目したり，

自分で決めた自動車について本から情報を取捨選択するときの参考になったりすると考える。また、第三次で図鑑をスムーズに活用することができるように、授業の中で図鑑の読み方や本の読み方を学習する時間を確保していく。

学習の振り返りをする時にはどうさんカードを使って、今日の学習を通して「できたこと」「わかったこと」など観点を示して振り返られるようにする。友達の頑張っていたところや良かったところなどにも気付けるように視点を示していく。

本単元では交流活動を第二次（2～7時）と第三次（8～11時）に設定している。第二次では、分かりやすい文章構成の秘密を探るために、一人学びをした後にペア学習でお互いの考えを伝え合う。それは、友達と自分の考えが同じであるか、また、本当にあっているかと自分の考えを批判的に見たり、他にはないかと多面的に見たりしながら自分の考えを広げることを目的とする。第三次では、自分が書きたい自動車について図鑑や本を読みながら自力で「しごと」や「つくり」について探し、付箋に書き出す活動を行う。その後、ペア学習でその内容について正しく書き出されているか、他にはないかを交流する。分からない時には相談をしながら探すなど、自分の考えをよりよいものにするために交流活動を行う。

3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	○ 知りたいことや興味をもったことに関する情報を得るために、自動車について説明した本や文章を選んで読もうとする。	○ 「じどう車ブック」を作るために、自動車について書かれた文章を進んで読んだり、紹介したい自動車についての情報を集めたりしようとしている。
読む能力	◎ 説明されている「しごと」と「つくり」の関係や文章構成上の順序について確かめながら、内容の大体を読むことができる。 【読(1)イ】	○ いろいろな自動車の「しごと」と「つくり」の関係や文章構成上の順序について、挿絵と文章のつながりを確かめながら読んでいる。
言語についての知識・理解・技能	○ 主語と述語との照応関係に注意して文や文章を読むことができる。 【伝国イ(カ)】	○ 主語と述語に気を付けながら「しごと」や「つくり」について書かれている文章を読んでいる。

4 単元の指導計画と評価規準（全11時間）

時間	学習活動	評価規準	主な交流活動
1	(1) 学習の見通しをもつ。題名と1文目を読み、自動車についての説明的文章であることを確かめ、乗り物について知っていることを話し合う。その後、自動車にはいろいろな秘密があることを確かめ、単元名から「じどう車ブック」を作ることに関心をもつ。	・ 単元名や題名、モデル文から学習の見通しをとらえ、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。 【関・意・態】	

2	(2) 学習材を読み、問いの文とその答えとして紹介されている自動車を見付け、構成をとらえる。新出漢字や初出の言葉の学習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習材の問題文やその答えの部分に気を付けて読んでいる。 【読(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペアで問いの文や答えの文を探しその根拠も交流する。
3	(3) 学習材の答えの部分を読んで読み、答えの書かれ方が「しごと」と「つくり」の順序になっていることをとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「しごと」と「つくり」の文をその根拠とともに見付け、「しごと」「そのために」「つくり」の順序で書かれていることが分かる。 【読(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で同じところを見つけた後ペアで交流し確認する。
4	(4) バスや乗用車は、人を乗せて運ぶ「しごと」に合った「つくり」になっていること、トラックは荷物を運ぶ「しごと」に合った「つくり」になっていることをとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を比較することで、運ぶものが違うと「つくり」も異なってくることをとらえている。 【読(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「しごと」と「つくり」について書いてあるところを確かめながら読み合う。
5	(5) クレーン車について、バスや乗用車、トラックと比べながらどんな「しごと」と「つくり」になっているかとらえる。「しごと」と「つくり」に着目して本を読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ クレーン車について、「しごと」と「つくり」の観点で説明されている内容をとらえ、シートに書いている。 【読(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「しごと」と「つくり」について書いてあるところを確かめながら読み合う。
6	(6) 救急車について、「しごと」と「つくり」を本で確かめながらカードを完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救急車について書かれた本を確かめながら、「しごと」と「つくり」について書いている。 【読(1)イ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「しごと」と「つくり」について書いてあるところを確かめながら読み合う。
7	(7) はしご車について、「しごと」と「つくり」を本で確かめながらカードを完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ はしご車について書かれた本を確かめながら、「しごと」と「つくり」について書いている。 【読(1)イ・カ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「しごと」と「つくり」について書いてあるところを確かめながら読み合う。
8 9	(8) 自分のお気に入りの自動車について図鑑を基に、「しごと」と「つくり」を書いたり、絵をかいたりする。 【1年3組公開授業Ⅱ】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で決めたお気に入りの自動車について本を見ながら「しごと」と「つくり」を関係付けて説明する文章を書いている。 【読(1)イ・カ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペアで本を読み、「しごと」と「つくり」について確認し合う。
10	(9) 学級の友達と自分のお気に入りの自動車について交流し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が書いたものを友達と交流している。 【読(1)オ】 	
11	(10) 単元の振り返りをする。6年生に「じどう車ブック」を読んでもらい、学習の成果を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習を振り返り、よくできたところや難しかったところを確かめている。 	

5 本時の指導（8/11時間）

【1年3組公開授業Ⅱ】

(1) 目標

自分で決めたお気に入りの自動車について本や図鑑を見ながら「しごと」と「つくり」を見つけることができる。

(2) 本時の評価の観点と評価規準

観点	評価規準	概ね満足できる	支援を要する児童への手立て
	自分で決めたお気に入りの自動車について本や図鑑を見ながら「しごと」と「つくり」を選んで書いている。 【読む能力】	自動車の「しごと」と「つくり」を選んで、書いている。 (例) タンクローリー しごと せきゆやみずなどを一どに たくさんはこぶ。 つくり にだいにせきゆやみずをい れる大きなタンクがついてい ます。	前時までのカードを見せたり 図鑑の絵や写真をよく見せたり、 教師から質問したりする。

(3) 研究仮説に関わって

<学習課題の解決に向けて、子供たちが意欲的に交流する場や方法の工夫>

本時では、図鑑から選んだ車の「しごと」と「つくり」を選んで書いているか、他にはないか、分からない時は相談するために、ペアでの交流を行う。子供たちが意欲的に交流するために、「しごとはこれでいいですか」「つくりはこれでいいですか」「ほかにつくりはないですか」「なんでこんなつくりになっているのですか」など交流の観点を決めておく。

(4) 展開

段階	学 習 活 動 (○主な発問, ◇期待する児童の反応)	指導上の留意点(・) 評価(□) 交流活動(☆)
導入 5分	① 前時の学習を想起する。 ② 本時の目標をつかむ。	・ 「じどう車ブック」をつくるためにお気に入りの自動車の、「しごと」と「つくり」を探すことを確認する。
	ずかんから、おきにいりのじどう車の「しごと」と「つくり」をみつけよう。	

<p>展開 3 3 分</p>	<p>③ 今まで学習してきた図鑑の見方を確認し、本時のゴールを明確にする。</p> <p>④ 一人で図鑑を見て、「しごと」と「つくり」を探して付箋紙に書く。</p> <p>⑤ ペア（隣同士）で交流する。 ○ ペアで自分が探した「しごと」と「つくり」を説明します。聞いている人はそれであっているか、他にはないかを考えながら聞きましょう。 ◇ しごとはこれでいいかな。 ◇ つくりはこれでいいかな。 ◇ 他にはないかな。 ◇ これはつくりではないんじゃない。 ◇ これもつくりだと思うよ。 ◇ なんでこういうつくりになっているのかな。</p> <p>⑥ 「しごと」と「つくり」をカードに書き、カードを完成させる。 ○ ペアで交流したことをもとに、カードに「しごと」と「つくり」を書いてみましょう。</p> <p>⑦ 学習のまとめをする。 ○ みんなの前でカードを発表しましょう。 ◇ 僕は△△の仕事とつくりを書きました。 「しごと」は～～です。「つくり」は～～です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「しごと」は赤、「つくり」は青の付箋紙に書いていくようにする。 ・ 本時の完成版を提示して、イメージさせる。 ・ 付箋紙に書いたら、カードに貼り付けさせる。 <p>☆ ペアで自分が探した「しごと」と「つくり」を話し、聞いている人は合っているか、他にはないかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図鑑をペアで見ながら、交流させる。 ・ 質問したり、話したりする順番は特に決めず、思ったことをどンドン話をさせる。 ・ 間違いやつけたしがあったら訂正もさせる。 <p>□ 「しごと」と「つくり」を選んで書くことができる。 (カード・観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 終わった人は自分が書いたカードを読んでもみる。 ・ 学習のまとめとして、完成したカードを数人に読ませる。 ・ つくりで何をしているのかをみんなで確かめる。
-----------------------------	---	---

<p>終末 7分</p>	<p>⑧ 本時の振り返りと次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の学習で頑張ったことやできたことはありますか。隣の友達に話しましょう。 ◇ 「しごと」と「つくり」を見つけて書くことができました。 ◇ △△さんに教えてもらってできました。 ○ 次の時間は、この続きをします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りは、ぞうさんカードを使い、「わかったこと」や「できたこと」、「友達と交流してよかったこと」の観点を示し、隣同士で発表させる。その後、全体で何人かに発表させる。 ・ 次時では、カードを完成させることを伝える。
------------------	---	--

(5) 板書計画

車	車	つくり	しごと	つくり	しごと	完成したカードのモデル	じどう車くらぶ ずかんからおきにいりの車の「しごと」と「つくり」をみつけよう。
---	---	-----	-----	-----	-----	-------------	--